

<b>財団法人8020推進財団</b> <b>平成19年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</b>	
<b>1. 事業名</b>	：フロリデーショ(水道水フッ化物濃度調整)の実施をめざした啓発活動
<b>2. 申請者名</b> ：	社団法人富岡甘楽歯科医師会
<b>3. 実施組織</b> ：	富岡甘楽歯科医師会、下仁田町、下仁田町健康づくり推進協議会、下仁田町保健推進員協議会、 下仁田町フロリデーショ推進会議、住民組織、日本口腔衛生学会
<b>4. 事業の概要</b> ：	<p>下仁田町では、平成15年度から18年度まで4年連続で、(財)8020推進財団から歯科保健活動助成の交付を受け、関係諸団体が連携しフロリデーショの実施をめざした啓発活動を継続してきた。平成16年度には日本口腔衛生学会監修のリーフレット「フロリデーショ」、平成17年度には厚生労働省科学研究班の技術支援を受けた「フロリデーショモデル装置」が完成した。</p> <p>今年度は、4月に富岡甘楽歯科医師会主催の公衆衛生研修会を開催し、フッ化物を利用したむし歯予防についての知識を再確認し、フロリデーショの実施をめざす当歯科医師会の姿勢を明確に示した。下仁田町では、これまでの活動を通して、関心のある意識の高い住民からは理解と協力が得られつつある。そこで、これまで無関心だった住民に重点を置いて対策を検討してきた。また、富岡甘楽地区の市町村合併も念頭に置いて、管内他市町村の住民を対象にした啓発活動にも、これまで以上に積極的に取り組んできた。</p> <p>そのための媒体として、フロリデーショ啓発ポスター「知っていますか？ フロリデーショ」(B2版)を4種類制作し、公共施設や医療機関、薬局、店舗等への掲示を依頼した。また、チラシ「知っていますか？ フロリデーショ」(A4版両面印刷)を2種類制作し配布した。さらに、「フロリデーショ問答集」を発行するための準備として、議員や住民から出た疑問点を整理し、編集のための資料集めを行ってきた。</p>
<b>5. 事業の内容</b> ：	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)平成19年度公衆衛生研修会の開催</li> <li>(2)歯の衛生週間対外行事「歯の健康フェア2007」(第22回)でフロリデーショコーナーを設置</li> <li>(3)フロリデーショ啓発ポスター「知っていますか？ フロリデーショ」の制作と掲示</li> <li>(4)チラシ「知っていますか？ フロリデーショ」の制作と配布</li> <li>(5)フロリデーショ啓発ポスターのデザインが、(株)アイ・メディカルの企画商品としてクリアファイルになり市販された</li> <li>(6)フロリデーショ問答集の編集作業(発行は来年度を予定)</li> <li>(7)下仁田町保健センターに設置されたフロリデーショモデル装置の活用</li> <li>(8)「健康しもにた21」推進大会の会場にフロリデーショコーナーを設け啓発を実施</li> <li>(9)フッ化物洗口説明会を利用した情報提供</li> <li>(10)甘楽町の「広報かんら」(毎月発行)にフロリデーショについて連載が決定</li> <li>(11)富岡保健福祉事務所歯科保健連絡調整会議発行の啓発資料を管内全小学校へ配布</li> </ol>
<b>6. 実施後の評価(今後の課題)</b> ：	<p>初めてフロリデーショを知った住民の反応は比較的好意的なものが多く、正確な情報の提供は非常に重要だと思ふ。フロリデーショについてある程度理解している住民は、下仁田町だけでなく富岡甘楽地区全域で確実に増加している。しかし、無関心な住民も多く、健康問題に興味を示さない人に対する啓発は、今後も引き続き大きな課題である。</p> <p>フロリデーショを実施するための条件として、市町村長の理解と議会の承認は必要不可欠である。富岡甘楽地区では、フロリデーショについての情報を歯科医師会が住民に提供することに、行政も概ね協力的である。市町村や歯科医師会主催の各種事業において、フロリデーショについて正確な情報を継続的に提供していくことにより、住民から幅広い支持が得られれば、議会の承認も得られ、フロリデーショを実施できる環境が整うと考えている。今後も啓発活動を継続していく必要がある</p>

